

所得，価格の変化が消費財需要量におよぼす影響

消費財の需要量は，通常，価格が上昇すると減少する．それは，価格上昇による代替効果も所得効果も，ともに需要量を減少させるからである（需要法則）しかし下級財については，価格上昇による所得効果が需要量を増加させるので，需要法則に反する現象が起こることがある（とくに低所得層にとっての生活必需品について見られる）それをギッフェン逆説という．

I. 消費者の意思決定（需要量の決定）

- A. 予算制約の下での効用最大化
- B. 予算制約線と無差別曲線の接点

無差別曲線の傾き = 所得制約線の傾き

$$\text{コメの牛肉に対する限界代替率} = \frac{\text{コメの価格}}{\text{牛肉の価格}}$$

II. 所得変化の影響

A. 所得消費曲線（所得支出曲線）

1. 所得変化の影響の表し方

- a. 需要の所得弾力性
 - (1) 需要の所得弾力性とは

$$\text{需要の所得弾力性} = \frac{\text{消費量増加の割合}}{\text{所得増加の割合}}$$

- (2) 所得に占める支出額の割合，R

所得弾力性 > 1： 所得が増加すると R は大きくなる．

所得弾力性 < 1： 所得が増加すると R は小さくなる．

- b. エンゲル曲線： 所得と需要量の関係を示すグラフ

2. 消費財の分類

- a. 上級財と下級財
 - (1) 上級財（正常財） 需要の所得弾力性 > 0
 - (2) 下級財（劣等財） 需要の所得弾力性 < 0
- b. 必需品と奢侈品（贅沢品）
 - (1) 必需品 需要の所得弾力性 < 1
 - (2) 奢侈品 需要の所得弾力性 > 1

B. エンゲルの研究

1. エンゲルの法則とエンゲル係数

- a. 食費の所得弾力性 < 1： 所得が高いほど食費の所得に占める割合は小さい．

$$\text{b. エンゲル係数} = \frac{\text{食費}}{\text{所得}}$$

2. 豊かな社会の問題

- a. 必要な食費
- b. 贅沢な食費

III. 価格変化の影響 — 需要法則の説明

A. 価格変化の二つの効果

1. 相対価格の変化 → 代替効果
2. 実質所得の変化 → 所得効果

B. 価格上昇の影響： 上級財（正常財）の場合

1. 代替効果と所得効果

- a. 代替効果： 相対価格上昇 → 需要量減少
- b. 所得効果： 実質所得下落 → 需要量減少

2. 需要の価格弾力性

a. 需要の価格弾力性とは

$$\text{需要の価格弾力性} = \frac{\text{消費量減少の割合}}{\text{価格上昇の割合}}$$

b. 特定の消費財（例えばコメ）に対する支出額，E

- 価格弾力性 > 1： 価格が上昇すると E は小さくなる。
 価格弾力性 < 1： 価格が上昇すると E は大きくなる。

IV. ギッフェン逆説

A. 下級財（劣等財）

1. 実質所得減少の効果： 需要量の増大
2. 実質所得増大の効果： 需要量の減少

B. ギッフェン逆説が起こる条件

1. 価格上昇の影響

- a. 代替効果： 相対価格上昇 → 需要量減少
- b. 所得効果： 実質所得減少 → 需要量増加

2. 通常的需求法則に反する現象

a. 代替効果と所得効果の大小関係

- (1) 所得効果 < 代替効果 → ギッフェン逆説は起こらない。
- (2) 所得効果 > 代替効果 → ギッフェン逆説が起こる。

b. 所得効果の大きさをきめる要因： 価格変化が起こった財の消費量

価格変化が起こった財の消費量が大きいほど、その価格変化によって生じる所得効果は大きい。

参考文献

教科書・第 4 章。

付 録

I. 「粗代替財」「粗補完財」について

A. 粗代替関係，粗補完関係の例

1. 粗代替関係： 新幹線と飛行機（航空運賃が上がると新幹線の需要量は増える。）
2. 粗補完関係： 自動車とガソリン（ガソリン価格が上がると自動車の需要量は減る。）

B. 関連財の価格変化の影響

1. 交差効果（例えばガソリン価格が自動車需要量におよぼす効果）の分解
 - a. 代替効果
 - b. 所得効果
2. 代替関係補完関係のきめ方
 - a. 2 財のあいだの関係が代替関係か補完関係かは，本来，代替効果を見てきめる。
 - b. 「粗代替」「粗補完」の関係は，所得効果も含めた需要量の変化できめている。

II. エンゲル係数（総務省統計局資料による。）

日本 2008 年（「年間収入五分位階級別 1 世帯当たり 1 ヶ月間の支出」全国二人以上世帯）

| 五分位 | I | II | III | IV | V | 平均 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 年間収入（万円） | 274 | 410 | 547 | 731 | 1,207 | 634 |
| 月間消費支出（円） | 197,192 | 243,282 | 282,701 | 332,210 | 429,276 | 296,932 |
| 月間食費（円） | 52,960 | 60,007 | 67,477 | 75,455 | 89,106 | 69,001 |
| エンゲル係数 | 26.9 | 24.7 | 23.9 | 22.7 | 20.8 | 23.2 |

国際比較 「世界の統計」

| 国 | 年 | 係数 |
|---------|-------|------|
| オーストラリア | 98～99 | 18.8 |
| オーストリア | 99～00 | 15.9 |
| ベルギー | 01 | 15.9 |
| チェコ | 03 | 24.2 |
| デンマーク | 01～03 | 16.0 |
| フランス | 01 | 26.0 |
| ドイツ | 03 | 14.0 |
| インド | 03 | 43.6 |
| 日本 | 04 | 23.0 |
| 韓国 | 04 | 27.1 |
| オランダ | 00 | 13.3 |
| ノルウェー | 02 | 14.1 |
| シンガポール | 02 | 21.3 |
| スペイン | 02 | 24.0 |
| スイス | 03 | 14.9 |
| イギリス | 03～04 | 15.5 |